

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第4区分

【発行日】平成24年7月19日(2012.7.19)

【公開番号】特開2011-28802(P2011-28802A)

【公開日】平成23年2月10日(2011.2.10)

【年通号数】公開・登録公報2011-006

【出願番号】特願2009-172459(P2009-172459)

【国際特許分類】

G 11 B 27/036 (2006.01)

G 11 B 20/10 (2006.01)

H 04 N 5/91 (2006.01)

【F I】

G 11 B 27/036

G 11 B 20/10 G

H 04 N 5/91 N

H 04 N 5/91 Z

【手続補正書】

【提出日】平成24年6月6日(2012.6.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0081

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0081】

ステップS21およびS22の処理は、処理対象が最終ピクチャのデータであること以外、図14のステップS11およびS22の処理と同様であるので、説明は省略する。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0154

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0154】

また、ステップS117で絶対使用可能総データ量Aoutが閾値Z以下であると判定された場合、ステップS122において、ビデオエンコーダ52は、符号化モードをアライン制御モードに設定する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0155

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0155】

ステップS123において、ビデオエンコーダ52は、図14の通常ピクチャ用スタッフィングデータ付加処理を行い、処理をステップS124に進める。